

令和2年度 上毛町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

番号	事業名	事業概要【実施計画書から抜粋】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) ※金額は予算額	担当課	事業始期	事業終期	(単位:円)		効果検証 ①成果(具体的に数値等を記載) ②検証(評価)
						総事業費 (実績額)	うち 交付金充当額	
1	新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充事業	①新型コロナウイルス感染症対策のための業務体制拡充 ②会計年度任用職員報酬2,071千円、期末手当122千円 ③1名分(報酬 167,520円×12月=2,010,240円、時間外勤務報酬 2,010,240円×3%=60,307円、期末手当 167,520円×0.725月=121.452円) ④ -	子ども未来課	R2.4	R3.3	2,096,791	2,096,000	① 会計年度任用職員1名雇用 ② 会計年度任用職員1名雇用することにより、住民への次亜塩素酸水配布やマスク配布等、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対する支援の拡充が図れた。
2	新型コロナウイルス感染症対策用マスク等購入事業	①新型コロナウイルス感染症予防のため、町内の医療関係施設等へのマスク配布、町住民に対して一人10枚のマスク配布、町内の事業者及び住民への次亜塩素酸水の無償配付を行う。 ②マスク等購入費 16,340千円 ③マスク(60.5円×100,000枚、44円×100,000枚)10,450千円 その他消耗品(使い捨て手袋等) 1,600千円 高機能マスク購入費 195円×1.1×2万枚=4,290千円 ④町住民、町内の医療機関、福祉施設	子ども未来課	R2.4	R3.3	15,182,659	15,162,000	① マスク配布実績 マスク(一般住民) 7,144件 マスク(妊婦) 75件 マスク(医療・福祉施設等従事者) 401件 高機能マスク(医療従事者) 178件 ② マスクが品薄で購入が難しかった時期にマスクを配布したことで、町内施設従事者や町民が感染症対策を実施できるよう図った。
3	上毛町緊急生活支援金事業	①緊急事態宣言を受け、経済対策として、町民1人当たり一律2万円を給付する。 ②事務的交付金152,520千円 ③支援金 1人20千円×7,626人=152,520千円、その他事業に必要なコピー用紙代、封筒印刷代、郵送代等 ④町内全住民	総務課	R2.5	R2.11	152,520,000	127,721,000	① 給付人数 7,626人(3,238世帯) 給付率 99.9% ② 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民に広く迅速に支援金を給付することにより生活支援を図った。
4	新型コロナウイルス感染症拡大防止休業協力店舗支援金	①緊急事態宣言の延長を受け、感染拡大防止に協力した店舗に対して、休業やテイクアウトの実施に対して協力金を交付する。 ②事務的交付金 4,700千円 ③一店舗 休業分(2週間以上休業)200千円×20店舗=4,000千円 休業分(1週間以上休業)100千円×3店舗=300千円 加算分(テイクアウト)100千円×4店舗=400千円 ④感染拡大防止に協力した店舗	開発交流推進課	R2.5	R2.6	4,700,000	4,700,000	① 給付件数 23件 ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止に協力するため、休業やテイクアウトの実施を行った店舗に対して協力金を支給することで、事業継続の下支えに寄与した。
5	上毛町プレミアム商品券事業	①個人消費を喚起して地域経済の活性化を図るため、商工会が行うプレミアム付き地域商品券(プレミアム商品券)の発行を支援する。 当初予算でプレミアム10%を予定していたが、消費喚起のため補正予算で10%を増額し、20%とする。 ②事務的補助金 2,000,000円 プレミアム分(20%)のうち増額した10%の2分の1である5%分を負担する。(県が2分の1を負担し、町が残り2分の1を負担) ③商品券発行予定額 40,000,000円×5%=2,000,000円 ④上毛町商工会	開発交流推進課	R2.7	R3.2	1,995,020	1,995,000	① 販売総額 40,000,000円 プレミアム率20% 8,000,000円 販売率 100% 換金率 99.8% ② 町内の事業所のみで使用できるプレミアム商品券を発行することで、町内個人消費者へのプレミアム分の付与及び町内事業者の売上高増を図った。
6	敬老事業	①75歳以上の町民を対象に、敬老の記念品として町内主要商業施設で使用できる商品券を作成・贈呈し、消費を喚起するとともに、コロナ禍で落ち込む基幹産業の農産物・加工品等の販売促進を行う。 ②報償費 983千円 ③商品券 1,000円×983人=983,000円 ④町内在住の75歳以上の高齢者	長寿福祉課	R2.6	R3.3	983,000	983,000	① 対象者1,459人 商品券利用者1,285人 利用率88.0% ② 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、町内主要商業施設での消費喚起及び農産物・加工品等の販売促進を促した。

番号	事業名	事業概要【実施計画書から抜粋】 事業の概要 ①②③④を必ず明記 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) ※金額は予算額	担当課	事業始期	事業終期	(単位:円)		効果検証 ①成果(具体的に数値等を記載) ②検証(評価)
						総事業費 (実績額)	うち 交付金充当額	
7	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校の教育活動再開等に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策や夏季休業期間短縮等に伴う熱中症対策に必要な物品の購入等及び、学びの補償のため学校での教育活動や家庭学習を実施するために必要な物品を購入する。 ②(小学校) 消耗品費 948千円、備品購入費 3,253千円 (中学校) 消耗品費 74千円、賃借料 339千円、備品購入費 651千円 ③(小学校) 網戸(4校分) 2,353千円、サーキュレーター 11,550円×35台 その他備品 495千円、マスク等消耗品 948千円 (中学校) 網戸(1校分) 651千円、パーテーション等消耗品 74千円 バス借上料(修学旅行バス1台増) 339千円 (詳細は別紙積算資料) ④町内1中学校、4小学校児童生徒、教員	教務課	R2.4	R3.3	4,911,317	2,363,000	①(学校再開に伴う感染症対策消耗品) (主な購入品目) ・パーテーション 55個 ・マスク、消毒液、ハンドソープ 1式 ・ウェットシート、手袋、タオル 1式 (学校再開に伴う感染症対策備品) (主な購入品目) ・網戸 310枚 ・サーキュレーター 35台 ・扇風機(大型含む) 43台 ・自動手指消毒器 14台 ②小中学校の学校再開に伴い、感染症対策用品を整備し、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に努め、児童生徒が安心して学校生活を過ごせるようになった。
8	指定避難所新型コロナウイルス感染症対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指定避難所の対策用品を整備し、感染拡大防止に努める。 ②消耗品費 3,004千円、備品購入費 6,436千円 ③<消耗品> ・フェースシールド(ヘッドタイプ) 80個 52,640円 ・マウスシールド 100個 19,800円 ・使い捨て手袋 5箱 6,900円 ・フェースシールド(メガネタイプ) 200個 93,500円 ・ハンドジェル、ソープ、手袋 一式 33,410円 ・マスク 100枚入り20箱 16,280円 ・マットレス等 1式 211,640円 ・非接触式体温計 51個 443,190円 ・アクリルパーテーション 89枚 303,952円 ・防災用マット 100セット 1,512,500円 ・消毒液 5箱 90,750円 ・消毒液自動噴射機 3,000円×12=36,000円 ・消毒液(自動噴射機用) 5箱 90,750円 ・フェイスマスク 200個 93,500円 <備品> ・ワンタッチパーテーション 100張り 簡易ベッド50基 2,293,500円 ・ワンタッチパーテーション 50張り 1,980,000円 ・非接触式感知器 5基 379,500円 ・ポータブル電源 10基 1,558,700円 ・消毒液自動噴射機(スタンド付き) 25,000円×9台=225,000円 ④指定避難所	総務課	R2.6	R3.3	9,412,772	9,304,000	①(避難所感染対策用消耗品) (主な購入品目) ・フェイスマスク 350個 ・マウスシールド 100個 ・非接触式体温計 51個 ・アクリルパーテーション 89枚 ・マスク、ハンドジェル、手袋等 1式 ・防災用マット 100セット (避難所用感染対策備品) ・ワンタッチパーテーション 150張り ・簡易ベッド 50基 ・非接触式感知器 5基 ・ポータブル電源 10基 ・消毒液自動噴射機 10台 ②新型コロナウイルス感染症対応避難所運営マニュアルに基づき避難所を設置し、整備した感染症対策用品を使用・設置することにより新型コロナウイルスへの感染リスクを軽減することができ、町民が安心して避難所を利用できるようになった。
9	新型コロナウイルス感染症対策用空気清浄機購入事業(ゆいきらら)	①町の体験交流施設(ゆいきらら)において、宿泊利用者等への新型コロナウイルス感染予防のため各部屋(5部屋)に空気清浄機を設置する。 ②備品購入費 255千円 ③空気清浄機 60,000円×3台=180,000円 非接触式感知器 1台 75,900円 ④体験交流センタースタッフ及び利用者	総務課	R2.10	R3.3	255,000	255,000	①<西友枝体験交流センター感染対策用備品> 空気清浄機 3台 非接触式感知器 1台 ②西友枝体験交流センターにおける感染症対策用備品を整備し、非接触式感知器による施設利用者の検温及び空気清浄機を設置することにより新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を実施し、利用者等が安心して施設を利用できるようになった。

番号	事業名	事業概要【実施計画書から抜粋】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) ※金額は予算額	担当課	事業始期	事業終期	(単位:円)		効果検証 ①成果(具体的に数値等を記載) ②検証(評価)
						総事業費 (実績額)	うち 交付金充当額	
10	リモート会議対応整備事業	①新型コロナウイルス感染予防のため、リモート会議等に対応するための本庁舎及び大平支所内のWi-Fi環境の整備及びリモート会議用のパソコン等を購入する。 ②通信運搬費 59千円、使用料 34千円、工事請負費 6,014千円、備品購入費 1,879千円 ③本庁舎・支所Wi-Fi整備工事 6,014,000円 ノートパソコン 215,050円×5台=1,075,250円 タブレット 160,820円×5台=804,100円 ウイルスバスターライセンス料 10台 34,000円 Wi-Fi通信料 59,000円 ④町職員	企画情報課	R2.11	R3.3	7,631,552	7,610,000	① Wi-Fi環境 ・本庁舎アクセスポイント 10箇所 ・支所アクセスポイント 8箇所 主な購入品等 ・ノートパソコン 5台 ・タブレット 5台 リモート会議等開催数 18回 ② 本庁及び支所にリモート会議を実施できる環境を整備し、町職員の会議出席による新型コロナウイルス感染症への感染リスクの軽減を図ることができた。
11	新しい生活様式対応店舗等支援補助金	①来客型の店舗などにおいて、国の提唱する「新しい生活様式」に沿った店舗等の改修や備品購入に対して町が補助金を交付する。 ②事務的交付金 14,000千円 ③上限200,000円×70件=14,000,000円 ④町内で店舗等を営む法人又は個人事業主	開発交流推進課	R2.10	R3.3	7,884,000	7,884,000	① 給付件数 45件 ②「新しい生活様式」に沿った新型コロナウイルス感染症対策を行う来店型の店舗などに対して店舗改修費や備品購入費を補助し、来店客が安心して店舗を利用できるよう支援した。
12	指定管理施設(大平楽)冷暖房設備改修事業	①新型コロナウイルス感染症防止対策を強化するため、町指定管理施設である大平楽内の空調設備の改修を行う。 ②工事請負費 39,102千円 ③家族棟 7,185,000円 温泉館 11,941,000円 エントランス 10,119,000円 レストラン 9,108,000円 集中管理システム 749,000円 ④指定管理施設(大平楽)	開発交流推進課	R2.11	R3.3	39,102,000	39,102,000	① 大平楽冷暖房設備改修工事 家族棟 室外機1台 室内機9台 温泉館 室外機1台 室内機13台 エントランス 室外機2台 室内機9台 レストラン 室外機7台 室内機13台 集中管理システム 1式 ② 町の観光施設である大平楽の空調設備を新型コロナウイルス感染症防止対策強化のため改修し、来店客が安心して施設を利用できる環境整備を図った。
13	私立保育所感染予防対策事業	①町内私立保育所が実施する新型コロナウイルス感染予防対策や新しい生活様式に対応するために必要となる臨時的な経費について補助を行うもの。 ②事務的補助金 12,000千円 ③私立保育所 2施設 上限6,000千円×2施設=12,000千円 ④町内私立保育施設(2施設)	子ども未来課	R2.10	R3.2	12,000,000	12,000,000	① 各私立保育所の感染予防対策の臨時的経費に対し補助を行った。 補助金額 6,000千円×2施設 【ボッポ保育園の取組内容】 ・3密回避のための屋外活動促進 衝撃吸入人工芝整備 215㎡ ・マイナスイオン医療用物質生成器 3台 ・消毒ポンプスタンド 3台 ・空気清浄機 1台 ・非接触式体温検知器 1台 ・消毒用アルコール等消耗品 【新吉富保育所の取組内容】 ・3密回避のための屋外活動促進 屋外複合遊具 一式 ・オゾン殺菌機 1台 ・非接触式体温計 6個 ・消毒スプレースタンド 1台 ・消毒用アルコール等消耗品 ② 町内保育所における感染防止対策と新しい生活様式への対応が強化され、保育施設での新型コロナウイルス感染者の発生が抑えられた。

番号	事業名	事業概要【実施計画書から抜粋】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) ※金額は予算額	担当課	事業始期	事業終期	(単位:円)		効果検証 ①成果(具体的に数値等を記載) ②検証(評価)
						総事業費 (実績額)	うち 交付金充当額	
14	3密回避のための屋外活動促進事業(公立保育所)	①保育所の室内は3密になりやすいことから、屋外活動を促進するため、乳幼児用の砂場屋根を更新する。 ②工事請負費 1,045千円 ③乳幼児用砂場屋根更新工事費 1,045千円 ④町内公立保育所(1施設)	子ども未来課	R2.10	R2.11	1,045,000	1,045,000	①既存屋根 3.5m×3.6m 面積12.6㎡ 新設屋根 5.4m×7.2m 面積38.9㎡ ②屋根の面積が3倍になったことにより、一クラス15名の児童が屋外活動を行う際、日陰になる一人あたりの面積が約0.84㎡から約2.6㎡に増加し、児童が密集することなく活動することができるようになった。
15	医療・社会福祉施設感染予防対策事業	①町内に所在する老人福祉施設、障害者福祉施設、母子生活支援施設等の社会福祉施設が実施する感染予防対策に必要な経費について補助を行う。 ②事務的補助金 13,855千円 (社会福祉施設分11,355千円、医療施設分 2,500千円) ③《社会福祉施設》 規模(定員数)に応じて補助 定員10人以下 20万円以内 定員11人~20人以下 40万円以内 定員21人~30人以下 60万円以内 定員31人~40人以下 80万円以内 定員41人~50人以下 100万円以内 定員51人以上 200万円以内 町内8法人の合計 11,355千円 《医療機関》 1施設あたり50万円以内 町内5医療機関の合計 500千円×5施設=2,500千円 ④町内に社会福祉施設を設置している法人 町内に所在する医療機関	長寿福祉課 子ども未来課	R2.10	R3.3	13,855,000	7,155,000	①社会福祉施設 7法人 医療機関 7医院 ②町内に所在する老人福祉施設、障害者福祉施設、母子生活支援施設等の社会福祉施設及び医療機関等、感染リスクが高い施設に対し感染予防対策を推進し、施設利用者及び職員の感染リスクの軽減を図った。
16	放課後児童クラブ・子育て支援センター感染予防対策事業	①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、町内放課後児童クラブ及び子育て支援センターに対して衛生用品を配布する。 ②マスク等消耗品購入費 2,227千円 ③・使い捨てマスク 1箱50枚入 649円×200箱=129,800円 ・非接触型体温計 7,920円×8台= 63,360円 ・消毒用アルコール(エタノール) 本体800ml×30本 40詰替用×300本 966,570円 ・殺菌消毒剤ビューラックスS(業務用18ℓ) 7本 36,401円 ・専用ポンプボトル350ml容器 24本 232,584円 ・ハンドソープ 40 90本 ・オートディスペンサー 12個 26,760円 ・ジョイントマット(三密回避) 120枚 495,000円 ・その他施設消毒用消耗品 276,525円 ④町内放課後児童クラブ、子育て支援センター	子ども未来課	R2.11	R3.3	2,159,276	2,100,000	①放課後児童クラブ 6施設 子育て支援センター 1施設 <主な消耗品> ・非接触型体温計 8個 (児童クラブ6個、子育て支援センター2個) ・殺菌消毒剤(業務用18ℓ) 7本 ・不織布製マスク(50枚入×200箱) ・ハンドソープ(4ℓ×90本、専用ボトル×24本) ・手指消毒剤(800ml×30本、詰替用4.5ℓ×300本) ・ジョイントマット(4枚入×30セット) ・掲示板(ホワイトボード鉄板)設置 ・アルコールディスペンサー 16個 ・ペーパータオル、ビニール手袋等消耗品 1式 ②児童施設での基本的な感染予防対策が強化されたことにより、児童の新型コロナウイルスへの感染が抑制された。

番号	事業名	事業概要【実施計画書から抜粋】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) ※金額は予算額	担当課	事業始期	事業終期	総事業費 (実績額)	(単位:円)		効果検証 ①成果(具体的に数値等を記載) ②検証(評価)
							うち 交付金充当額		
17	公共施設クリーン空間確保事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、住民が安心して公共施設を使用できるよう、学校を含む公共施設に空気清浄機やパーテーション等を設置する。</p> <p>②空気清浄機購入費 12,967千円 ハンドディスプレイ等購入費 320千円 パーテーション、体温計購入費 691千円</p> <p>③空気清浄機 225,500円×19台=4,284,500円 空気清浄機(小中学校分) 109,560円×56台=6,135,360円 空気清浄機(社会教育施設分) 212,300円×12台=2,547,600円 ハンドディスプレイ 16,000円×20台=320,000円 小学校分消耗品 528,740円 パーテーション 450円×274人=123,300円 パーテーション 500円×304人=152,000円 非接触型体温計 7,920円×32個=253,440円 中学校分消耗品 162,340円 パーテーション 500円×293人=146,500円 非接触型体温計 7,920円×2個=15,840円</p> <p>④住民、町内公共施設</p>	子ども未来課 教務課	R2.10	R3.3	13,533,340	13,533,000	<p>①(公共施設クリーン空間確保事業消耗品) 小中学校 (主な購入品目) ・机用パーテーション 871個 ・非接触型体温計 34台 (公共施設クリーン空間確保事業備品) 小中学校 ・空気清浄機 56台 社会教育施設 ・空気清浄機 12台 (げんきの杜6台、西吉コミセン2台、 唐原コミセン2台、中央公民館支館2台) 公共施設 ・空気清浄機 17台 (上毛町役場9台、大平支所8台) ・アコーディオンスクリーン 5台 (大平支所、議会事務局) ・サーキュレーター 4台 (大平支所) 児童福祉施設 ・空気清浄機 18台 (大平保育所9台、放課後児童クラブ9台) ②小中学校、社会教育施設、公共施設等の新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、空気清浄機等感染拡大防止対策用品を設置することによって、安心して施設の利用ができるようになった。</p>	
18	農産物生産支援事業	<p>①売上が減少した町内の農産物直売所において、販売手数料を町が助成することで、農産物等の生産者の生産意欲を喚起する。</p> <p>②補助金 12,300千円(道の駅 900千円、さわやか市 1,150千円) ③昨年度実績額×1.1(※実績額に対し補助) 道の駅 月平均818千円×1.1=899.8千円≒900千円 さわやか市 月平均1,045千円×1.1=1,149.5千円≒1,150千円</p> <p>④町内直売所</p>	産業振興課	R2.10	R3.3	10,264,386	9,025,000	<p>①助成対象施設 ・道の駅しんよしとみ 対象出荷者 月平均99人 ・さわやか市 対象出荷者 月平均105人</p> <p>②農産物直売所の販売手数料を助成し農産物等生産者の生産意欲を喚起することにより、コロナ禍においても前年と同額程度の販売につながった。</p>	
19	公立学校情報機器整備費補助金	<p>(学校からの遠隔学習機能の強化事業)</p> <p>①学校からの遠隔学習機能の強化事業において家庭学習を行うための遠隔授業に必要なカメラ、マイク等を整備する。</p> <p>②備品購入費(カメラ、マイクセット) 175千円</p> <p>③カメラ、マイクセット購入費 総事業費 1セット59,070円×5校=295,350円 補助対象分事業費 35,000円×5校=175,000円 (補助率2分の1、1セットあたり上限17,500円のため、1セット 35,000円として補助対象分を計上。) 補助金額 17,500円×5校=87,500円⇒87,000円 補助対象外の120千円を単独事業として20番に計上</p> <p>④町内中学校1校、小学校4校</p>	教務課	R2.11	R3.1	175,000	88,000	<p>①備品購入費 カメラ・マイクセット 5セット (中学校1校、小学校4校)</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の拡大で休校等の措置を取る必要が生じた場合において、遠隔授業などで対応出来る準備が整った。</p>	

番号	事業名	事業概要【実施計画書から抜粋】 事業の概要 ①②③④を必ず明記 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） ※金額は予算額	担当課	事業始期	事業終期	（単位：円）		効果検証 ①成果（具体的に数値等を記載） ②検証（評価）
						総事業費 （実績額）	うち 交付金充当額	
20	GIGAスクール端末導入等事業	①国が進めるGIGAスクール構想に係る一人一台端末及び家庭学習を行うための通信機器、遠隔授業において必要なカメラ、マイク等の整備を行う。また、小学校6年生と中学校3年生については通信機器の通信料を負担する。 ②備品購入費（タブレット、カメラ・マイクセット） 14,191千円 ③・タブレット購入費 3人に2台について国からの定額補助（43,560円）への上乗せ分 上乗せ単価 13,849円×444台=6,148,956円 1人1台に不足する分（国の補助対象にならない分） 一台あたり単価 57,409円×138台=7,922,442円 合計 14,071,398円 ・カメラ・マイクセット購入費 国からの補助（2分の1、上限17,500円）への上乗せ分 上乗せ単価 24,070円×5校=120,350円 ④町内中学校1校、小学校4校	教務課	R2.11	R3.3	14,191,000	14,191,000	① 備品購入費 タブレット 582台 (中学校1校、小学校4校) ② タブレット端末を一人一台導入し、タブレット端末を使つての授業や遠隔授業に対応できる環境整備を行った。また、モバイルWi-Fiを導入したことで新型コロナウイルス感染症の拡大で休校等の措置をとる必要が生じた場合において、自宅にインターネット環境がない家庭を対象に貸し出しが可能となり、遠隔授業を実施できる体制整備を図つた。
21	上毛町立図書館 図書消毒機 購入事業	①新型コロナウイルス感染症予防のため、町立図書館に専用の図書消毒機を設置し、利用者及び施設職員の感染リスクの低減を図る。 ②備品購入費 1,166,000円 ③図書消毒機 一台 1,166,000円 ④上毛町立図書館、図書館利用者	教務課	R2.11	R3.2	1,166,000	1,166,000	① 図書消毒機 1台（上毛町立図書館に設置） ② 町立図書館に専用の図書消毒機を設置することによって、図書を通しての感染を防ぐことができ、利用者及び施設職員の感染リスク低減を図ることができた。
22	携帯型空気清浄カード購入事業	①感染症予防の一環として、携帯型空気清浄カードを全町民に配付する。 ②消耗品費 31,690千円、印刷製本費 21千円、通信運搬費 858千円 ③携帯型空気清浄カード購入 3,600円×8,000枚×1.1=31,680,000円 事務用消耗品費 9,625円 郵送用封筒印刷代 21,780円 携帯型空気清浄カード郵送代 858,315円 ④町内全住民	子ども未来課	R2.9	R2.12	32,560,095	32,560,000	① 空気清浄カード配布実績 7,978枚 ② 「マスクの着用」、「手指の消毒」、「身体的距離の確保」など「新しい生活様式」に基づく行動に加え、花粉、アレル物質、ウイルス等を体内に吸い込むリスクを下げる作用が期待される空気清浄カードを住民に配布することにより健康被害リスクの軽減を図つた。
23	自治公民館等クリーン空間確保事業	①新型コロナウイルス感染症予防のため、地区の自治公民館等（集会所を含む）45箇所に1台ずつ、空気清浄機を設置し、利用者の感染リスクの軽減を図る。 また、自治公民館等の部屋面積が大きい施設を想定し、自治公民館等への貸出用として3台を購入する。 ②空気清浄機購入（備品購入費） 5,670千円 ③空気清浄機118,135円×48台=5,670,480円 （内訳） ・自治公民館・集会所118,135円×45台=5,316,075円 ・貸出用118,135円×3台=354,405円 ④町内自治公民館・集会所	教務課	R2.12	R3.3	5,670,000	5,670,000	① 公民館・集会所設置台数 42台 貸出用台数 6台 ② 地区の自治公民館等に空気清浄機を設置することによって、感染リスクが軽減され、利用者が安心して利用することができるようになった。

番号	事業名	事業概要【実施計画書から抜粋】 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） ※金額は予算額	担当課	事業始期	事業終期	（単位：円）		効果検証 ①成果（具体的に数値等を記載） ②検証（評価）
						総事業費 （実績額）	うち 交付金充当額	
24	福岡県緊急短期雇用創出事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、働く場を失った方に短期の雇用を創出する。また、道の駅しんよしみへの支援を行い、売上増を目指す。 ②委託料 454千円（道の駅に委託） ③福岡県緊急短期雇用創出事業交付金事業の町負担分（2分の1） 10月～1月までの雇用 1名分 人件費 533千円+販路拡大事業経費 376千円 =909千円×1/2=454千円 ④道の駅しんよしみ、住民	企画情報課	R2.6	R3.2	415,000	415,000	① 1名雇用（雇用期間：R3.9.14～R3.12.13） ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、働く場を失った方を1名雇用した。また、イベント等でのフィエロの新商品の開発及び販売を行い、売上増を図ることができた。
合計						353,708,208	318,123,000	